

イトヨリ

momento

モメント

イトヨリつむぐmomento

南米ペルーのスタジオで、さまざまな活動をしているアーティストデュオ・ちうあこ。高松アーティストインレジデンス2023では、うみまち商店街のスペースを拠点に地元で知られている魚の行商“いただきさん”の横付け自転車を古着-古布を使ってデコレーションしていきオリジナル自転車を制作します。



この自転車は実際に市内で走行し、ペルーや日本で定期的に開催しているワークショップ「ボロ人形作っちゃおうの会」を各ポイントで開催します。詳細日程、場所はお問い合わせください。

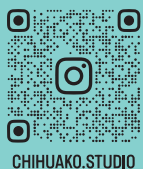


開催予定地

- うみまち商店街 オープンスタジオ
(滞在時間中随時) 11/27まで
- やしまーる 11/3・4 (14時~16時)
11/5 (10時~12時)
- 塩江美術館 11/18 (11時~1時)
- 高松市美術館 展示 11/28~12/3
ワークショップ12/2・3

その他アクティビティ等、詳細はInstagram
をご確認ください。

拠点となるうみまち商店街/駐車場前の
スペースは随時オープンスタジオを
行なっています。簡単なワークショップも
できるので気軽にお立ち寄り下さい。



問い合わせ
カプチャあさみ
(chihuako.taller@gmail.com)

CHIHUAKO-ちうあこ-

平面、立体、デジタル、ワークショップ等で活動している
カプチャ・あさみと、様々な素材を扱う立体造形作家サンドロ
のアーティストデュオ。南米ペルーのスタジオで、
ワークショップ、デザイン、アートディレクション、
受注、イベント等、幅広く行なっており今年で8年目になる。



高松アーティスト・イン・レジデンス2023

主催: 高松市文化芸術振興課

高松港一帯は瀬戸内の中でも頭上運搬する
女性行商人が盛んな地域だったそうだ。
特徴として「いただきさん(頂さん)」と
呼ばれていた事を知る。名前の元となった
糸より姫の伝説は、逆境を切り抜ける思考
の展開が女性のパワーやしなやかさを感じさせ、
他国で生活してきた私にとっても魅力的な話だ。

近代では横付けのカスタム自転車で漁港から
行商にでるようになった事、そしてその女性たち
も「いただきさん」と呼ばれている事は地元で
よく知られている。時代と共にスタイルを
変えていったいただきさんは、横付けの自転車
が主流だった昭和スタイルも例に漏れず変化する。
大型スーパー等が出来た事で、どの地域も
行商自体ほとんど見られなくなったし、
いただきさん達も高齢になった。

こういった行商に親しみを感じたのは、
ペルーでの路上販売やパフォーマンスがすでに
私の日常になっていたということが大きい。
コロナ以降はかなり少なくなったが、
ストリートフードから量り売り、便利グッズや
サービスを始め、ミュージシャン、ダンス、
パフォーマンスまで現地では日常風景といえる。
私自身もペルーで路上販売をしていた経験があり、
各国地域で隣人との繋がりや距離感に違い
があり非常に興味深いと感じていた。
これらを日本と比較する事は難しいが、
その場その時のやりとりや地域と生活の循環
を促すものとして考えると、いただきさんも
同じだと言えるし貴重な民族文化だと思える。

今回このプロジェクトでは、「その場その時」
をいただきさんやペルーのストリート
アーティスト等になぞらえ、リサーチ/
ワークショップを含める制作を行う。
いただきさんは魚を届けるが、私達は
アート体験を届ける。アートも特別に決め
られた場所や時間で発表する(-鑑賞する)
というものだけじゃない。寧ろその場所が
移動する“移動スタジオ”という設定で
偶然の出会いが生まれればと思う。